JA全厚連情報



看護立志式の様子(JA静岡厚生連 厚生連看護専門学校)

• JA全厚連

□ 令和6年度以降のDPCデータ 事業企画委員会を開催	の入手・管理等について協議	1
□ 2024 年度介護報酬的定における介護 厚生連老健施設応援プログラム	護老人保健施設のポイントと経営対応について研修 を開催	4
□ JAグループ群馬における健康経営の取り組みについて事例報告 厚生連常勤役員・参事会議を開催		6
・通信員だより		
Zildytytet	签 2 同唐中 医主建学会眼况(点河原先级会会院)	0
	第 2 回健康長寿講演会開催(白河厚生総合病院)	g

- 9
- 人気ドラマのロケ受け入れ(土浦協同病院なめがた地域医療センター) 10
- 鹿行地区JA青年部による農産物即売会開催(総合病院水戸協同病院) 11
 - 名産品で医療従事者に感謝(総合病院水戸協同病院) 12
 - JA茨城県厚生連看護職7名が受賞(JA茨城県厚生連) 13
 - 社会福祉士の動画を公開(JA茨城県厚生連) 14
 - 食事介助スキルアップ研修会を開催しました(伊勢原協同病院) 15
 - 看護の日講座(相模原協同病院) 16
 - 不審者対応訓練が行われました(相模原協同病院) 17
- 看護専門学校2校で看護立志式(厚生連看護専門学校・するが看護専門学校) 18
 - 不審者対応の防犯訓練実施(JA静岡厚生連清水厚生病院) 19
 - 新採用職員防災研修(JA静岡厚生連清水厚生病院) 20



全国厚生農業協同組合連合会 〒100-6827 東京都千代田区大手町 1-3-1 JAビル TEL(03)3212-8000 FAX(03)3212-8008 E-Mail: jigyounei@ja-zenkouren.or.jp (事業運営支援グループ) https://www.ja-zenkouren.or.jp 編集責任者 中村 純誠

令和6年度以降のDPCデータの入手・管理等 について協議

事業企画委員会を開催

令和6年5月21日に、大手町のJAビルにおいて、事業企画委員会を開催した。

会議では、主に①厚生連理事の兼職兼業規制の見直し、②第30回JA全国大会議案への対応、③令和6年度以降のDPCデータの入手・管理―等について協議が行われた。

4月10日に開催された農民の健康を創る会総会において、医師・歯科医師である厚生連理事の兼職兼業規制について出席された議員より質問があり、農林水産省が現在省令改正に向けて動いていることについて説明した。この改正により、医師・歯科医師である理事の兼職兼業規制が見直されることとなる。

第 30 回 J A全国大会議案への対応について、J A・連合会職員並びに担い手農業者等の健康に貢献するとともに、健康づくりをサポートしつつ生産性を高めていく経営手法となる「健康経営」を J A グループで取組むため、J A、連合会及び全国連合会の健康経営の進め方等について説明した。

令和6年度以降のDPCデータの入手・管理について、令和5年度まで全厚連で使用していた分析ソフトの契約更新が難しくなったことから、新たなDPC分析ソフトの導入により、各厚生連に各社グループごとのデータ提供が可能となるとともに、本会職員、現状では特に厚生連からの出向者を中心に、当該分析ソフトを活用している県厚生連担当者とも連携することで、分析手法や同結果等の活用の幅を拡大していくことについて説明した。今後、分析ソフト毎に説明会を実施し、意見交換会などの開催を検討している。

出席した委員からは、「同じソフトを使うとデータの突き合わせは非常に簡単になるのではないかと思うが、それには活用できる人材を育成することが必須。だが、使える人はほとんどおらず、勘でやってるところが多い。どこかで育成してその内容を伝えていただくか、一緒になって勉強を進めていただくかで対応願いたい。診療報酬の要件がどんどん厳しさを増すことが想定されるため、その対応としては、現場をよく知る人による分析により、先手を打たないとなかなか難しいという印象である」等の意見が出された。

事業企画委員会 次第

日時:令和6年5月21日(火)

14 時から

場所: JA全厚連会議室

- 1. 開 会
- 2. あいさつ
- 3. 報告事項
 - (1) 農民の健康を創る会総会について
 - (2) 厚生連理事の兼職兼業規制の見直しについて
 - (3) 重点支援地方交付金による助成状況について
 - (4) 令和5年度特別交付税措置の活用状況について

4. 協議事項

- (1) 第30回JA全国大会議案への対応状況について
- (2) 令和5年度仮決算による健全性指標の結果について
- (3) 令和6年度以降のDPCデータの入手・管理について
- (4) 令和6年度厚生連病院財政調整事業の実施について
- (5) その他
- 5. 閉 会

令和5年度事業企画委員会 名簿(実務者PT部門)

氏名	厚生連名	役職
小川 秀幸	北海道	代表理事専務
髙久 忠	福島県	代表理事理事長
高木 茂	富山県	代表理事理事長
宇野 修二	愛知県	代表理事理事長
庄山 隆裕	三重県	代表理事理事長
豊田 達之	広島県	代表理事理事長

令和5年度事業企画委員会 名簿(医師PT部門)

氏名	厚生連名	役職
小野地 章一	秋田県	代表理事理事長
高野 靖悟	神奈川県	代表理事理事長
洞 和彦	長野県	代表理事理事長
塚田 芳久	新潟県	代表理事理事長
田宮 隆	香川県	代表理事理事長

令和5年度事業企画委員会 名簿(保健事業部門)

氏名	厚生連名	役職
飯沼 全司	山梨県	代表理事専務
上月 裕司	兵庫県	代表理事常務
三宅 隆	愛媛県	代表理事理事長
西野 良二	熊本県	代表理事常務

2024 年度介護報酬改定における介護老人保健施設のポイントと経営対応について研修

厚生連老健施設応援プログラムを開催

本会は5月27日、厚生連老健施設応援プログラムをWEBで開催し、介護老人保健施設・病院の管理職・職員など17事業所から32名が参加した。

「厚生連医療スタッフ応援プログラム」は、厚生連病院の医療スタッフが抱えるテーマについて、部門別の講演やディスカッションによる情報共有、解決の一助となるような場を提供することを目的としている。令和6年度は、診療報酬改定・介護報酬改定をテーマに今回の厚生連老健施設応援プログラムに加え、6月25日に厚生連リハビリ部門応援プログラム、7月12日に厚生連事務部門応援プログラムの開催を予定している。

今回開催した厚生連老健施設応援プログラムでは、ASK梓診療報酬研究所 所長中林 梓 氏から「2024年度介護報酬改定における介護老人保健施設のポイントと経営対応」について講演していただいた。

中林氏からは、「今回の介護報酬改定のポイントは、介護で働く人材を確保するための処遇改善、高齢者の人数は多いのに働き手は減ってきている中での介護DX、寝たきりの高齢者を作らないためのリハビリ・栄養・口腔に関する情報共有・一体的な取り組みの3つである。特に介護DXについては、昔と同じ仕事内容では当然忙しくなるだけなので、様々なAI、ICTを積極的に活用してほしい。限られた人材で働き方を楽にするために、AI、ICTを積極的に採用してほしいという意図が今回の介護報酬改定にはある。また、今後高齢者が増える地域もあれば、高齢者すら減る地域も増えてくる。自施設の地域がどのような人口変化があるのか把握し、どういった利用者を集めていくのか、そして継続して利用してもらえるかを考えていただきたい」と述べた。

参加者からは、「DX推進の重要性を肌で感じることができた。また、現場の具体例で説明いただき理解しやすかった」「中林先生の解説はとても分かりやすい。病院版と老健版と合わせて聞かせてもらうと、立ち位置の異なる目線でのお話が聞けてトータルでとても良い研修会であった」「解釈通知内容も網羅でき、非常にわかりやすい内容であった。通知を読んだだけでは算定が難しいと思っていた加算も、検討できそうなものがあり勉強になった」等の感想が寄せられた。



中林氏講演のようす

J Aグループ群馬における健康経営の 取り組みについて事例報告

厚生連常勤役員・参事会議を開催

令和6年5月31日に東京・大手町・JAビル4階「401会議室」において、厚生連 常勤役員・参事会議を開催した。

協議事項③、DPCデータの取得・管理では、令和5年度まで全厚連で使用していた分析ソフトの契約更新が難しくなったことから、新たなDPC分析ソフトの導入により、各厚生連に各社グループごとのデータ提供が可能となるとともに、本会職員、現状では特に厚生連からの出向者を中心に、当該分析ソフトを活用している県厚生連担当者とも連携することで、分析手法や同結果等の活用の幅を拡大していくことについて説明した。

協議事項④、第30回JA全国大会議案への対応状況では、JA・連合会職員並びに担い手農業者等の健康に貢献するとともに、健康づくりをサポートしつつ生産性を高めていく経営手法となる「健康経営」をJAグループで取組むため、JA、連合会及び全国連合会の健康経営の進め方等について説明した。

健康経営に関連して、尾澤 一英 氏(JA群馬中央会・部長)、津久井 隆夫 氏(群馬県農業団体健康保険組合・常務)、青木 昭 氏(JA群馬厚生連・常務)が「JAグループ群馬における健康経営の取り組み」をテーマに事例報告を行った。

群馬県では、中央会・健康保険組合・厚生連が連携して、県内のJAに対して健康経営を推進している。

報告では、健康経営を推進するきっかけを説明するとともに、実際に各 J A に動いてもらうために3者がどのように働きかけを行ったのかについて説明いただいた。

各団体における健康経営への第一歩目として、「生き活き健康事業所宣言」を行うように働きかけた。各団体はチェックシートを用いて現在の職場の状態を把握したうえで、令和5年度中にすべての団体が「生き活き健康事業所宣言書」を入手した。また、県域としての方針の必要性と全体での効果を数字でみるための目標が必要であると認識したことから、「メタボリックシンドローム」の低減を県域目標とすることを決定した。そして、令和5年6月に「健康経営の手引き 2023」を各団体に提供した。

今後の取組みとしては、人事異動や役員改選なども踏まえ改めて担当者会議を行い、 各 J A がそれぞれ具体的な取組みを計画できるようにサポートしていく旨が説明さ

れた。

出席者からは「健保と連携する際のポイント」や「若い人への心理的安全性」について質問があった。



会議のようす



JA 群馬中央会·尾澤部長



群馬県農業団体健康保険組合・津久井常務



JA 群馬厚生連·青木常務

厚生連常勤役員・参事会議次第

日 時:令和6年5月31日(金)

午後1時から

場 所:大手町・JAビル4階「401会議室」

WEB併催

- 1. 開 会
- 2. 挨 拶
- 3. 議事

報告事項

- ① 農民の健康を創る会総会について
- ② 厚生連理事の兼職兼業規制の見直しについて
- ③ 重点支援地方交付金による助成状況について
- ④ 令和5年度特別交付税措置の活用状況について
- ⑤ 本会への厚生連職員の出向について
- ⑥ 令和5年度全厚連仮決算について

協議事項

- ① 令和6年度厚生連病院財政調整事業の実施について
- ② 令和5年度仮決算による健全性指標の結果について
- ③ DPCデータの取得・管理について
- ④ 第30回 J A全国大会議案への対応状況について

事例報告

JAグループ群馬における健康経営の取り組みについて その他

浄水サービス事業について

4. 閉 会

以上

口通信員だより口

第2回健康長寿講演会開催

(JA福島厚生連·白河厚生総合病院)

6月1日、白河QOL向上プロジェクト事業の一環として、白河文化交流館コミネスにおいて第2回健康長寿講演会を開催しました。当日は、スタンフォード大学睡眠医学センター准教授の河合真先生をお招きし、「あなたと家族の睡眠のあたりまえを少しだけうたがってみよう」というテーマでご講演をいただきました。

白河QOL向上プロジェクトは白河市民のQOLの向上と健康寿命の延伸を図ることを目的としており、白河総合診療アカデミー・白河厚生総合病院と白河市、ならびに京都大学の共同プロジェクトとして令和2年にスタートしました。

河合先生には、睡眠不足に応じて仕事のパフォーマンスが低下すること、日本人の 睡眠時間が短すぎること、高齢者でも7~8時間の睡眠時間が推奨されることなど、 わかりやすくご講演いただき、熱心な質疑応答がなされました。閉会の辞ではプロジェクトを牽引する京都大学名誉教授・福島県立医科大学副学長の福原俊一先生より、 白河市民のQOLを日本一にしたいという抱負を述べられ、盛会裏に講演会を終了しました。



講演会の様子

(大内崇通信員)

人気ドラマのロケ受け入れ

(JA茨城県厚生連・土浦協同病院なめがた地域医療センター)

JA茨城県厚生連が運営する土浦協同病院なめがた地域医療センター(清水純一病院長)では、フジテレビで2024年4月期に放送されたドラマ『アンメット ~ある脳外科医の日記~』(関西テレビ系)の撮影協力を行いました。

多くの俳優やスタッフが朝早くから病院に訪れ、院内の様々な場所で各シーンの撮影が夜遅くまで行われました。長時間の撮影となり疲労感も漂う中、JAなめがたしおさいから焼き芋などの差し入れが振舞われ、現場の雰囲気も和やかになりました。こうして4カ月間に渡り行われた撮影も無事に終え、ドラマも大好評のうちに終了となりました。

コロナ禍を経て、感染対策の観点からロケの受け入れを行う医療機関は減少していますが、当院での撮影は需要が多く、地元の行方市のフィルムコミッションから依頼が引っ切り無しに続いている状況です。また、スタッフのホテル宿泊やロケ弁当の注文の他、住民のエキストラ出演なども加わり、地域の経済効果にも期待できます。

今後もこうした協力に応じ、地域を盛り上げる一助として貢献していきたいと思います。



多くのスタッフが見守る中でシーンを撮影している様子 (行方市フィルムコミッションより提供)

鹿行地区JA青年部による農産物即売会開催

(JA茨城県厚生連·総合病院水戸協同病院)

6月5日、総合病院水戸協同病院(秋月浩光病院長)の玄関前で、鹿行地区JA青年部による「第42回鹿行地区農業PR市農産物即売会」が行われました。

同部はJAなめがたしおさい、JA茨城旭村の青年部員で構成され、鹿行地区の農産物を通じて地域社会への貢献や地域住民との相互理解を図り、食と農の価値を高める活動を行っています。

天気にも恵まれ、即売会は早々に注目を集め、病院に訪れた方だけでなく地元商店 街の方も集まりました。用意されたメロンやピーマン、さつまいもはあっという間に 完売となり、大盛況のうちに終了となりました。

今後もこのようなイベントが積極的に開催されることによって、病院に来院された 方や地域の方々が元気になってほしいと思います。



大盛況となった即売会の様子

名産品で医療従事者に感謝

(JA茨城県厚生連·総合病院水戸協同病院)

JA茨城県厚生連が運営する総合病院水戸協同病院(秋月浩光病院長)では、6月5日、鹿行地区の各JA青年部から名産品であるさつまいもやメロンなどが贈られました。

昼夜を問わず、懸命に患者を受け入れて診療にあたる医療従事者への感謝と激励が 込められた寄贈であります。

青年部を代表し、大和田貴 鹿行地区 J A 青年連盟連絡協議会長は 「お陰様で、今年も鹿行地区では特産であるさつまいも、メロン、ピーマンなどが美味しくできた。 是非、医療従事者の方々に食べてもらい、精を付けて頑張ってほしい」と話しました。

これに対し、秋月浩光 病院長は、「このような心遣いは本当にありがたい。そして、 全国でもトップクラスである茨城県の農業を支える生産者の方々を見習い、私たちも 最良の医療サービスを提供できるように努めていく」と感謝の意を伝えました。

この後、寄贈された品物は職員に振舞われました。



名産品を贈る大和田貴 JA青年連盟連絡協議会長 と受け取る秋月浩光 水戸協同病院長

J A 茨城県厚生連看護職 7 名が受賞

(JA茨城県厚生連)

6月14日、公益社団法人 茨城県看護協会が主催する令和6年度茨城県看護協会 通常総会が、ザ・ヒロサワ・シティ会館にて開催されました。同総会では、医療に献身的に従事した看護職、または同協会の発展向上のために貢献した看護職へ茨城県看護協会長賞の表彰授与式が行われ、JA茨城県厚生連から7名の看護職員が表彰を受けました。

式典終了後、受賞した土浦協同病院(広岡一信病院長)の花田幸代看護副部長は、「名誉ある賞をいただき、大変光栄に思う。これからもJA茨城県厚生連を通じて、茨城県の看護職の発展に貢献していきたい」と感想を述べました。



受賞した茨城県厚生連看護職員

J A 全厚連情報 No.1141 2024 年 7 月

社会福祉士の動画を公開

(JA茨城県厚生連)

JA茨城県厚生連では、動画を公開してPRを図っています。YouTube「JAグループ茨城」チャンネルにおいて、コンセプトムービーをはじめ、スタッフの1日密着動画を公開してきましたが、新たに「お仕事紹介動画」が加わりました。

第一弾となる今回は、「社会福祉士」であります。チーム医療の一員として、病気や入院・退院に伴う様々な生活課題の支援に当たる社会福祉士の仕事内容を、動画にて紹介します。

下記QRコードより、ぜひご視聴下さい。また、ぜひ「いいね」をお願い致します!



YouTube「JAグループ茨城」チャンネル 「お仕事紹介動画」



https://youtu.be/wgbAPXcEKQo

こちらからぜひご視聴ください。

食事介助スキルアップ研修会を開催しました

(JA神奈川県厚生連・伊勢原協同病院)

伊勢原協同病院(鎌田修博病院長)では5月28日、院内外の医療・介護従事者を 対象に食事介助スキルアップ研修会を開催しました。

日本摂食嚥下リハビリテーション学会認定士の小山珠美看護師、摂食嚥下障害看護認定看護師の石黒慎一看護師を中心とした当院の摂食機能療法委員が講師を務め、口から食べることの意義や課題、食事介助の方法などについて講義と演習が行われました。

演習では、研修会参加者が患者役を交代で務め、実際にベッドサイドで食事介助を 行う際の方法やコツ、注意点などを学びました。

ベッドや車いす、様々な器具に加え、当院で実際に提供しているムース食などを用いて、講師から指導を受けながら実習を行い、参加者は食事介助の技術を磨くことができました。



演習の様子

(増田佳一通信員)

看護の日講座

(JA神奈川県厚生連・相模原協同病院)

5月12日は、近代看護を築き上げたフローレンス・ナイチンゲールの誕生日で「国 際看護師の日」です。各地で様々なイベントが行われますが、相模原協同病院(渋谷 明隆病院長)でも看護の日にちなんで5月9日に地域住民向けの講座を開催しました。

今回は「人生会議~年をとっても病気になっても地域で、安心してくらす為に一緒 に考えませんか (ACP について) ~」をテーマに患者総合支援センター 波多江センタ 一長、緩和ケア科 橋爪部長、がん看護専門看護師 高野主任、緩和ケア病棟 佐羽副 師長、5N病棟 松屋副師長の5名による特別講演が行われました。講演終了後は、 演者の5名がパネリストになって、パネルディスカッションを行いました。参加者か らもたくさんの質問が寄せられ、感心の高さが伺えました。



講座開催の様子

(増田佳一通信員)

J A全厚連情報 №1141 2024年7月

不審者対応訓練が行われました

(JA神奈川県厚生連・相模原協同病院)

相模原協同病院(渋谷明隆病院長)では、6月5日に不審者対応訓練を行いました。 相模原北警察署の方々にご協力いただき、始めに「さすまた」の基礎知識・使い方の 講義、その後正面玄関にて実演が行われました。「さすまた」に触れる機会は少ない ため使い方やコツを興味深くお聞きしました。

実演では警察官の方に不審者役を演じていただき、参加者で対応する訓練を行い、 講義でお聞きしたことを活かして取り組みました。不審者と対面している場合、「さ すまた」は不審者に対して斜め下から押さえる方法が有効だそうです。もしもの時に 自身を守りながら、病院の安全を確保するために定期的に訓練を行っていきたいと思 います。



不審者対応訓練の様子

(増田佳一通信員)

看護専門学校2校で看護立志式

(JA静岡厚生連・厚生連看護専門学校・するが看護専門学校)

5月下旬、JA静岡厚生連の運営する看護専門学校2校がそれぞれの会場で看護立 志式を挙行しました。

来賓や保護者、教職員が見守る中、2年生両校合わせて70名は、ろうそくを手にし、ナイチンゲール像にともされた「看護の灯」を受け継ぎ、ナイチンゲール誓詞を唱和しました。その後、一人ひとりが学校生活の中で見つけた自分の強みや自分の目標とする看護師像を発表し、医療人としての志を表明しました。

これから病院や施設での本格的な臨地実習が始まります。



するが看護専門学校



厚生連看護専門学校

(望月俊宏通信員)

不審者対応の防犯訓練実施

(JA静岡厚生連・JA静岡厚生連清水厚生病院)

JA静岡厚生連清水厚生病院(西村明人病院長)は6月6日、清水警察署の協力を 得て防犯訓練を行いました。病院職員約50人が参加し、不審者が来院した場合の対 応方法などを学びました。

不審者役の署員がロビーで刃物を振り回し、病院職員は院内緊急コール「コードホワイト」を要請し、さすまたを使って不審者に対応しました。

訓練後は、夜勤等を実施する看護師らが警察署員から夜道での対策を学びました。



防犯訓練の様子

(望月俊宏诵信員)

新採用職員防災研修

(JA静岡厚生連・JA静岡厚生連清水厚生病院)

JA静岡厚生連清水厚生病院(西村明人病院長)は6月11日、新採用職員を対象に防災研修を行いました。

新採用職員 36 人が参加し、災害時対応の原理・原則「CSCATTT」など防災の基礎知識を学びました。その後、院内ラウンドで防災設備や避難経路を確認し、水消火器による消火訓練を行いました。



防災研修の様子

災害時対応の原則 『CSCATTT』

◆ Commando & Control 指揮命令、統制/調整

◆Safety 安全

◆Communication 情報伝達

◆**A**ssessment 評価

◆Triage トリアージ

◆**T**reatment 治療

災害時対応の原理・原則「CSCATTT」

(望月俊宏通信員)